

令和6年度救急訓練効果確認の実施



令和6年5月17日（金）、豊島消防署で行われた救急効果確認は、新型コロナウイルス感染症が5類になって以降、初めて、訓練想定に制限のない形で実施されました。

どの救急隊も出場件数が多く、訓練時間が十分に取れないなか、工夫を凝らしながら消防隊との連携訓練を実施し、現場に即した効果的な訓練を重ね、救急技術に磨きをかけました。

さて、毎年6月から8月にかけては、救急需要が高まり、救急出場体制のひっ迫が懸念される時期となります。救急出場件数が増加しても、豊島消防署の各救急隊は、磨き上げた技術により、都民の皆様提供最善の救急活動を提供していきます。

また、更なる知識・技術の向上を目指して、今後も訓練を重ねていきます！